

## 第10回 京北地域小中一貫教育校検討協議会

◇日 時 平成30年6月15日（金） 19：30～

◇場 所 京北合同庁舎 大会議室

- 1 はじめに
- 2 検討協議会構成について 資料1
- 3 前回の協議内容の確認 資料2
- 4 京北地域小中一貫教育校教育企画推進室の設置等について 資料3
- 5 平成30年度 京北地域小中一貫教育校創設に係る  
取組予定等について 資料4
- 6 校名案の公募方法について 資料5-1 資料5-2 資料5-3
- 7 施設整備について 資料6
- 8 通学安全に係る登校シミュレーションの実施について 資料7
- 9 その他
- 10 次回の日程について

## 平成30年度 京北地域小中一貫教育校検討協議会名簿

&lt;敬称略&gt;

京北自治振興会	久保 敏隆	京北自治振興会会長
	岡本 洋志	京北自治振興会副会長
	田中 章仁	京北自治振興会副会長
	中道 聰	京北自治振興会副会長
	古家 實義	京北自治振興会副会長
6自治会代表	高乗 政廣	弓削自治会長
	辻 実智之	細野自治会長
	堀留 義隆	周山自治会長
	西山 茂樹	山国自治会長
	由里 保	黒田自治会長
	正澤 重治	宇津自治会長
京北学校運営協議会	湯浅美千代	京北学校運営協議会理事
PTA代表	林 有里子	29年度京北第一小学校PTA会長
	小崎美和子	30年度京北第一小学校PTA会長
	庄 延浩	29年度京北第二小学校PTA会長
	久保 齊也	30年度京北第二小学校PTA会長
	寺井 靖浩	29年度京北第三小学校PTA会長
	上殿 智史	30年度京北第三小学校PTA会長
	田中 秀典	29年度周山中学校PTA会長
	樋口 泰弘	30年度周山中学校PTA会長
学校長	綾野 美晴	京北第一小学校長
	清水 隆志	京北第二小学校長
	三宅 泰	京北第三小学校長
	新井 保	周山中学校長

## 第 9 回（3 / 1 3）の協議内容

### 1 第 5 回通学安全検討部会の内容確認

「通学方法の基本的な方向性について」をテーマに協議を行い、これまでの通学安全検討部会で確認してきた通学バス運行方法（スクールバスと路線バスを相互に有効利用）を基本とすることを確認した。

また、今後、新校の教育課程等を考える中で、教育委員会が関係機関と具体的に協議していくことや、個別の地区（下地区・城山地区等）の通学方法に関しては、各学校と教育委員会が該当地区の関係者等と検討協議するとともに、必要に応じて検討協議会に報告し、方針を確認することとした。

### 2 校名の選定について

地域住民や小・中学生等を対象に「校名」や「校名に使いたい漢字・文字」を公募するとともに、応募いただいた校名案を基に検討協議会で検討し、学識経験者の意見を踏まえて地元案として最終選定のうえ、教育委員会に要望することを確認した。

### 3 施設整備について

京北ふれあいセンター（元周山小）等解体撤去工事が完了し、4月から埋蔵文化財発掘調査、6月からロータリーや法面、テニスコート等の造成工事等に順次着手する予定であることを報告した。

## 京北地域小中一貫教育校教育企画推進室の設置等について

## ■京北地域小中一貫教育校教育企画推進室の設置

平成32年4月に開校予定の「京北地域小中一貫教育校」における教育構想や各教科の具体的な教育内容、指導体制等について、京北4小中学校と連携して多角的な検討を行い、京北地域ならではの特色ある充実した教育を推進するため、教育委員会に「京北地域小中一貫教育校教育企画推進室」を本年4月に設置。

## &lt;教育理念&gt;

- 京北だからこそその教育 「京北から、世界へ」  
小中一貫教育校として、京北地域ならではの特色ある教育を実践し、京北地域の活性化に貢献するとともに、京北地域から未来を担いグローバル社会を切り拓く子どもを育成。
- 義務教育9年間の一貫した教育方針の下、  
施設一体型の学舎で、「確かな学力」(知)・「豊かな心」(徳)・「健やかな体」(体)を育成。  
また、多くの児童の中で切磋琢磨して、さらに資質・能力の伸長を目指す。  
そのために、地域や子どもの実態から、学校教育目標を設定する。

## &lt;小中一貫教育9年間のシステム&lt;math&gt;4 \times 3 \times 2&lt;/math&gt;&gt;

**1<sup>st</sup> Stage** 1年～4年(小1～小4) 学びの基礎を身に付ける

「学びの基礎 基本」・「基本的な生活習慣」・「集団生活のきまり」を身に付ける。

- ・やらなければならないことは、やり切れる子ども
- ・まわりの人と仲良くし、助け合える子ども
- ・自分も友だちも大切にして、元気に遊べる子ども

**2<sup>nd</sup> Stage** 5年～7年(小5～中1) 学びを広げる・深める・高める

基礎 基本の充実・向上・発展、世界をひろげる 可能性をひろげる。

- ・難しいことでも、立ち向かって努力できる子ども
- ・弱い立場の人を思いやり、手助けできる子ども
- ・好き嫌いをこえて、力を合わせて行動できる子ども

**3<sup>rd</sup> Stage** 8年・9年(中2・中3) 今を知り 未来を見つめて 行動する

将来の夢の実現に向け、自ら考え判断し、行動する。自己の生き方を創造する。

- ・意欲的に学びに向かう人
- ・公正な態度と正義の心を失わない人
- ・人を大切にし、感謝する心と大きな夢をもつ人

(裏面に続く)

## <特色ある取組（例示）>

- これからの国際化社会・情報化社会に生きる力の育成
  - ・全ての学習の基盤となる言語能力の育成。
  - ・小学校1年生から英語に親しむ → グローバル社会に対応する。
  - ・ICTの活用 → 授業でタブレットを使いこなし、学力向上につなげる。
  
- 京北地域ならではの異年齢集団による縦割り活動や仲間づくり
  - ・ピア・サポート。絆、つながり活動。
  - ・施設一体型の小中一貫教育校の特色を生かし、積極的な地域の取組や諸行事への参画を通して、地域との関わりをより深める。
  
- 京北ふるさと未来科（仮称）
  - ・生活科・総合的な学習の時間を活用する。
  - ・将来的に京北地域に帰り、地域を担う人づくり。  
「地域の魅力を知り、地域に誇りをもって、一時期出たとしても、また戻って活躍する人（京北の発展する未来の姿を構想する子・京北地域の活性化に貢献する子）の育成」
  
- 京北自然体験・環境教育
  - ・ESD（持続発展教育）
  - ・地域創生力と結びつく、持続可能な社会づくりの担い手を育成する教育

## <指導体制（例示）>

- カリキュラムマネジメント室の設置
  - ・「主体的な学び・対話的な学び・深い学び」を実現する。
  
- 小学校教員と中学校教員の協働
  - ・小学校の高学年において、中学校の教員による一部教科担任制を導入し、小学校の担任教員が連携・協力して取り組む
  - ・一人ひとりの状況に応じて9年間の継続的な指導・支援、育成学級・LD等通級指導教室の充実
  
- 北桑田高校や保育所との連携 【開かれた学校で、人との出会い】
  - ・学校運営協議会を中心に連携を強化。

※ 今後、上記のような様々な視点から、「京北地域小中一貫教育校」における教育内容について、京北地域小中一貫教育校教育企画推進室において、具体的に検討してまいります。

## 平成30年度 京北地域小中一貫教育校創設に係る取組予定等について（案）

	検討協議会	合同学習
5月		4小中学校合同学習(5/1) 全学年合同写生大会
6月	<b>第10回検討協議会(6/15)</b> ・京北地域小中一貫教育校教育企画推進室の設置 ・平成30年度取組予定 ・校名案の公募方法 ・施設整備 ・通学安全に係る登校シミュレーション	<b>3小学校合同学習(6/26)</b> 1・2・4・5・6年生 [教科学習等] ※3年生は社会見学
7月		<b>3小学校合同学習(7/11)</b> 全学年 [教科学習] <b>3小学校合同学習(7/13)</b> 5年生 [教科学習]
9月	<b>(予定) 第11回検討協議会</b> ・校名案の選定 ・施設整備, 通学安全に係る取組状況の確認等 ・4小中学校PTA会長会の取組(PTA組織・規約検討) 状況報告	
10月		<b>4小中学校合同学習(10/19)</b> 小1～6年生 [教科学習(午前)] 小1～中3 [周山中音楽祭(午後)]
11月	<b>(予定) 第12回検討協議会</b> ・校名案の最終選定 ・教育構想検討に係る進ちよく状況報告 ・施設整備, 通学安全に係る取組状況の確認等 ・4小中学校PTA会長会の取組状況報告	<b>3小学校合同学習(11/20)</b> 1・2年生 [教科学習]
12月		<b>3小学校合同学習(12/18)</b> 3年生 [教科学習]
1月		<b>3小学校合同学習(1/18)</b> 全学年 [教科学習] <b>4小中学校合同学習(1/18)</b> 小5～中3 [周山中オープンスクール(午後)]
2月		<b>3小学校合同学習(2/1)</b> 1～4年生 [教科学習] <b>4小中学校合同学習(2/1)</b> 小5～中3 [立志式]
3月	<b>(予定) 第13回検討協議会</b> ・施設整備, 通学安全に係る取組状況の確認等 ・4小中学校PTA会長会の取組状況報告	

## □ 施設整備(予定)

- ・平成30年4月～31年12月 埋文調査, 法面・ロータリー等整備工事
- ・平成31年1月～32年2月 新校舎建設工事等

## □ 31年度, 校歌・校章等について検討・協議予定

## □ 検討協議会の進ちよく状況を踏まえ, 適宜住民説明会を開催する予定

## 京北地域小中一貫教育校

## 「校名案」募集のお知らせ

京北地域小中一貫教育校検討協議会 平成30年7月発行

京北地域小中一貫教育校検討協議会（以下「検討協議会」という。）では、平成32年度の小中一貫教育校の開校に向けて、施設整備や通学安全に係る検討、学校間交流の充実など様々な取組を進めています。

「校名」についても、京北地域の子どもたちにとって夢と希望にあふれ、京北地域の新たなシンボルとして誇りや愛着が持てる、期待や願いを込めたものとなるよう検討したいと考えています。

つきましては、下記のとおり地域住民の皆様から新校の校名案を募集し、それを基に検討協議会で様々な視点から検討を進めたいと思いますので、ご協力の程、よろしく願いいたします。

記



ウッディー京北前交差点付近から見た新校外観イメージ図

- 1 募集期間 平成30年7月10日（火）～8月31日（金）
- 2 応募資格 京北地域在住者／4小中学校・3保育所保護者／4小中学校児童生徒／4小中学校教職員・3保育所職員

### 3 応募方法

別紙の応募用紙に「校名」や「校名に使いたい文字」等の必要事項を記入の上、①～④のいずれかの方法でご応募ください。

- ① 4小中学校・3保育所に設置した「応募箱」又は「郵便受け」に投函する。（※4小中学校保護者は児童生徒を通じて担任に提出可。）
- ② 京北自治振興会事務局（京北合同庁舎2階）に設置した「応募箱」に投函する。
- ③ FAXで4小中学校（FAX番号は下記「5 問合せ先等」参照）、京北自治振興会事務局（FAX 852-1838）のいずれかに送信する。
- ④ 4小中学校のホームページ（学校名で検索）から応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、電子メールの添付ファイルで4小中学校のいずれかに送信する。（※メールの件名には、「校名案の応募」と明記してください。）

※「校名」や「校名に使いたい文字」について、文字数、漢字・ひらがな・カタカナ等（併用可）は問いません。 ※現在の4小中学校の校名は新しい学校づくりの観点から「不可」とします。 ※お一人につき1回の応募とします。 ※応募用紙はコピー可。4小中学校・3保育所・京北自治振興会事務局でも用意しています。また、4小中学校ホームページから応募用紙のダウンロード可。 ※児童生徒には各学級担任から案内します。

### 4 選定方法

応募いただいた校名案を基に検討協議会において、より幅広い観点から検討するため学識経験者（京都市立学校の国語教育に精通した校長等の教員、教育委員会の国語科指導主事等）の意見も参考に検討し、新校名案を選定します。応募数が多いものが採用されるとは限りません。校名案選定後、京都市に要望を行い、最終的に京都市会の議決を経て正式決定されます。

### 5 問合せ先等

- 京北第一小 TEL 852-0026 FAX 852-1600 E-mail keihokul-s@edu.city.kyoto.jp
- 京北第二小 TEL 853-0002 FAX 853-7100 E-mail keihoku2-s@edu.city.kyoto.jp
- 京北第三小 TEL 854-0244 FAX 854-0256 E-mail keihoku3-s@edu.city.kyoto.jp
- 周山中 TEL 852-0053 FAX 852-0090 E-mail shuzan-c@edu.city.kyoto.jp

(案)

京北地域小中一貫教育校

## 「校名案」応募用紙

【平成30年8月31日締切】

※校名とは「京都市立 □□小・中学校」の□□にあたる部分のことで、ふりがなもお書きください。  
 ※①、②のどちらか一方の応募でも構いません。

① 校名	(ふりがな)
	京都市立 _____ 小・中学校
② 校名に使用したい文字	(ふりがな)

提案の理由や思いがあればお書きください。 [任意]	
------------------------------	--

氏名	
応募資格 (○をつけてください)	京北地域在住者      小・中学校保護者      保育所保護者 小・中学校教職員      保育所職員
お住まいの地区 (○をつけてください) ※小中学校教職員、保育所職員は記入不要	黒田   山国   弓削   周山   細野   宇津

## 【参考】校名を考える際の視点

- ・呼びやすく、わかりやすく、親しみやすいもの
- ・地域の歴史や風土を考慮したもの
- ・表記した際に、落ち着きと安定感があるもの
- ・地域のイメージを表現するもの
- ・新しい学校への期待・願いを込めたもの



## 京北地域小中一貫教育校の校名案検討に係る取組予定（案）

時 期	内 容
6月15日	<b>第10回検討協議会</b> ・公募方法について決定
7月10日以降	・応募用紙を全戸配布，児童生徒・保護者等に配布 ・4小中学校ホームページに応募用紙を掲載
8月31日	・応募締切
9月上旬	・応募結果を検討協議会メンバーに配布 ・検討協議会メンバーにおいて，個別に校名候補案数点を選定（事務局で集約）
9月下旬	<b>第11回検討協議会</b> ・各検討協議会メンバーの候補案を踏まえて協議し，校名候補案を一定数に絞り込む → 絞り込んだ校名候補案を基に，学識経験者に校名候補案の検討を依頼
10月	・学識経験者検討会議において，第12回検討協議会に提案する複数の校名候補案を検討
11月	<b>第12回検討協議会</b> ・学識経験者による検討結果（複数の校名候補案）を踏まえ協議し，地元校名案を最終決定
12月頃	・教育委員会へ「校名要望書」を提出予定

## 施設整備に係る工事スケジュール（想定）

## 1 新校開校まで

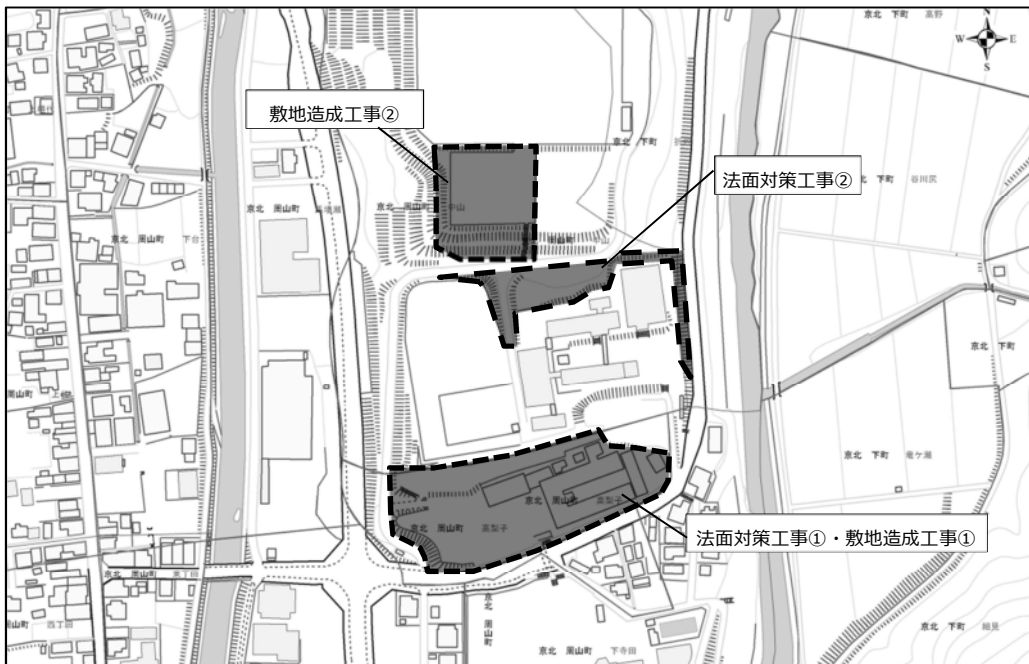
平成30年4月	埋蔵文化財発掘調査	～30年8月末予定
7月	法面・ロータリー等造成工事※	～31年12月末予定
平成31年1月	新校舎建設工事	～32年2月竣工予定

平成32年4月 京北地域小中一貫教育校 開校

## 2 新校開校後

平成32年4月	周山中学校校舎解体工事	～32年8月末予定
6月	サブグラウンド等整備工事	～33年6月末予定
9月	プール新築・体育館改修工事	～33年5月末予定

※ 工事範囲について



法面の傾斜を緩めたり補強したりする工事や、ロータリー等を整備するための切土・盛土工事を行います。

（注意）上記については、市会議案にかかる工事もあるため現時点での予定です。

## 通学安全に係る登校シミュレーションの実施について

### 1 目的

京北地域小中一貫教育校の通学手段については、新たに京北第二小学校区、京北第三小学校区の児童がバス通学となることなどを基本としており、通学経路・手段が大きく変わることとなる。そこで、開校時の安全で円滑な通学の実現に向けて、早期から児童がバス通学を経験し、具体的な学校生活をイメージできるようにするとともに、現在の通学手段案の改善点の有無を把握するために、登校シミュレーションを実施する。

### 2 実施予定日

- 第1回 平成30年 7月11日（水）
- 第2回 平成30年10月19日（金）
- 第3回 平成31年 1月18日（金）
- ※ 平成31年度も適宜実施する予定

### 3 実施内容

京北地域小中一貫教育校検討協議会の通学安全検討部会で確認された通学方法（別紙参考資料）を基本として、次のとおりとする。ただし、シミュレーション結果により調整することがある。

学校名	内 容
京北第一小	普段の登校と同じ。
京北第二小	<p>地区に応じて黒田スクールバスと路線バス（灰屋線）に乗車する。</p> <p>① スクールバスに乗車する区間：「吉野」から「比賀江」まで （概ね黒田地区及び大野地区から比賀江地区までの児童）</p> <p>② 路線バス（小塩・灰屋線）に乗車する区間： 「小塩下ノ町」及び「第二小学校前」から「殿橋」まで （概ね小塩地区、井戸地区、中江地区、塔地区から下地区までの児童）</p>
京北第三小	<p>地区に応じて2つの路線バス（弓削線・田貫線）に乗車する。</p> <p>① 路線バス（弓削線）に乗車する区間：「下川」から「下中」まで （概ね上弓削地区から下中地区までの児童）</p> <p>② 路線バス（田貫線）：「田貫公民館前」から「井崎」まで （概ね田貫地区及び下弓削地区から井崎地区までの児童）</p>
周山中	<p>次の2点を除き普段の登校と同じ。</p> <p>① 黒田地区の生徒：黒田スクールバス（第二小の①）に乗車する。</p> <p>② 「下中」から乗車している生徒：路線バス（弓削線）（第三小の①）に乗車する。</p>

#### 4 その他

(1) 実施前の説明，指導

各学校で，乗車するバスの種類・バス停，バス停までの行き方など児童・生徒への事前指導，案内プリントの配布等を行う。

(2) 実施当日の見守り体制

教職員や市教委職員が，普段バス通学をしていない児童が乗車する区間のバス停での待機や，バスへの乗車等により，児童の乗車状況を確認する。

(3) バスの乗車運賃

シミュレーションに伴う乗車運賃は，教育委員会が負担する。

## 通学バスの運行方法について

第一小	○宇津線：下校時も路線バスに変更      ○矢代線：スクールバス（混乗）に一本化      ○細野線：現状どおり
第二小	○灰屋・小塩線：路線バス（小塩地区及び比賀江以降が乗車） ○黒田線：スクールバス（混乗）（黒田地区から最玄寺まで乗車，比賀江以降は通過）※小塩地区は回らない
第三小	○弓削線：路線バス（上中以北が乗車）      ○田貫線：路線バス（田貫地区と下中以南が乗車）
周山中	○黒田地区から最玄寺までスクールバス（混乗）に乗車      ○その他：現状どおり

